

此門をぬく如様の士人まで此等遠き不及言候中
とせの申し國内地境の僧徒奥州仙臺の法山とぬ
め諷經燒香の勤ありしに才一といふ如華嚴公の如
所之明寺上人にて可なりとてけりある國府薬師別
當と妙山寶珠山とある寺満山の前後を詣りけり
車引師人此評議の上山名一叫軒墮可申台入字
位せられあるは一叫八字の腰方とて中とあり列を
定め曉つては才一と台才二と云言才三禪才海
お才五時宗才六日蓮才七一向才八西峯山伏中

なり其所以の台言禪の台は又那國より
来り宗才一日中に其の宗を渡りて前後の才を以
て定め侍り降む日蓮時宗は日本の新宗なるあり
位次如出一向と伏し妻帯し在家の等し
故清徳のよき事なりと云ふも下僧官
の位とて立てりし勝も法才なりし
職を授けに記し侍る直奉内の僧宛勅使申向の法
り又論旨の僧衆は勅使を以て下りし又其の寺
より數あり又論旨の文書は輕重なり諸論旨を